

令和4年度事業計画（案）

中国情報通信懇談会は、ICTを活用した最先端技術や政策動向などの情報提供のほか、地方公共団体と会員企業との意見交換の場の提供など、中国地域のICTの普及やICTを活用した地域経済の活性化に資する重要な任務・役割を担ってきました。

令和4年度は、地方に恩恵が多い「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けて、ICT・IoTを活用して地域の課題解決のためのデジタル実装、それを支えるデジタル人材育成、誰もが容易に利活用できるデジタル社会の実現などの取組を促進するために、関係機関と連携して次の事業を行います。

1 中国情報通信懇談会第37回総会

日 時 令和4年5月26日（木） 13:00～15:00
開催方法 Web会議システムを用いたオンライン開催

2 会員に対する情報提供

(1) ホームページの活用等

懇談会主催の各種イベントの開催案内や開催報告等について、ホームページ等に掲載し、情報発信に努めます。併せて、FacebookやTwitter等のSNSによる情報発信の充実にも努めます。

(2) メールマガジン「C—LINE」の発行

会員向けメールマガジン「C—LINE」は、懇談会主催の講演会・セミナーや会員からの情報提供、情報通信に関する最新の政策動向等を掲載し、電子メールによりタイムリーな情報提供に努めます。

3 普及・啓発活動

(1) 懇談会事業

以下のとおり、重点的かつ部会横断的に取り組むテーマを選定し、懇談会事業として取り組むこととします。

① デジタル実装の推進

昨年は、コロナ禍の中、引き続き不便な生活を強いられた一方、テレワークや電子決済、オンラインショッピングなどのICTを活用したサービスが国民生活に浸透しました。政府は、都市の活力と地方のゆとりの両方を享受できる「デジタル田園都市国家構想」を大きく打ち出し、その恩恵の大きい地方からデジタルの実装を進め、地方と都市の差を縮めようとしています。

中国地域では、様々な分野において地域のデジタル実装に向けてどう取り組むべきか模索している地方公共団体、団体等が多く見受けられます。

そこで、地域のデジタル実装を進めるため、地方公共団体や企業、大学、中国地域の国の地方行政機関等が連携しつつ、課題の整理、課題に沿った解決案の提案、具体的な補助事業等の

支援施策の紹介等を行います。

併せて、ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据え、ローカル5G・AI・IoT等を活用した地域のデジタル実装を担う人材を地域で育成する取組についても、産学官が連携しながら支援し、地域におけるデジタルリテラシーの底上げに取り組みます。

② ICTを活用した災害時に向けた取組

令和3年7月の大雨では特に熱海市で発生した土石流災害により、多くの尊い人命が失われました。続く8月の大雨では九州北部をはじめ、中国地方においても大きな被害が発生するなど、全国各地で毎年のように豪雨による被害が発生しています。

また、令和4年1月の日向灘を震源とする大きな地震に加え、今後、予想される南海トラフ地震や気候変動等による自然災害に備え、中国地方のICTを活用した取組事例等を紹介するセミナーを開催し、参加者の防災意識のさらなる啓発を図ります。

③ サイバーセキュリティ対策

ニューノーマル時代において、テレワークやオンライン会議の導入が急速に普及してきている中、サイバーセキュリティ分野における人材育成や意識啓発が重要な課題となっています。

また、地方公共団体や中小企業等に対する不正アクセスやネットワーク経由での情報改ざん・漏えいなど、サイバー攻撃による脅威の増大を踏まえ、関係団体などと連携し、総務省、研究機関、民間企業等の専門家を招き、サイバーセキュリティに関する最新の動向及びその対策などをテーマにインシデント演習などを織り交ぜた勉強会等を開催します。

④ オープンデータの推進

地方公共団体のオープンデータへの取組みを加速化し、中国地域のオープンデータの一層の利活用推進を図るために令和元年度から「中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブル」を設け、中国地域の課題を整理し、その課題を解決するためのデータ利活用の方向性等を議論しています。

これまでの議論やアンケート結果から、自治体を含めてデータの整備意識を高め、データのデジタル化及び自動化を前提とした業務見直しが必要なこと、また、必要なデータ項目の見直し及びデータの質の向上が必要なことなどの課題や、DXを進める上での課題について具体的な取組が必要なことがあげられています。

本事業では、引き続き、地方公共団体と連携し、中国地域でのオープンデータ化を一層加速させる取組を行います。

⑤ ひろしま IT 総合展 2022 への参画

西日本最大級のIT展示会である「ひろしま IT 総合展」は、隔年で開催され、当懇談会も会員の協力を得て、ICTの普及やICTを活用した地域経済の活性化に資することを目的に、積極的に参画してきた経緯にあります。

令和4年10月に、「ひろしま IT 総合展 2022」が開催されることから、今回も実行委員会の構成団体として積極的に参画することとします。

(2) 支援事業等

地域情報化の推進及び地域活性化に寄与すると認められる活動に対して支援を行うとともに、情報通信月間行事への積極的な参加を促進します。

4 部会活動

(1) 地域情報化・コンテンツ部会

デジタルを活用した地域課題解決、地域のデジタル人材の確保、行政のデジタル化、デジタルの活用支援などを図るため出前講座やセミナーの開催、地域課題解決や中国情報通信懇談会の会員メリット創出のため、会員が所有する生産性の向上や業務の効率化に有効なソリューションの紹介、コンテンツ流通促進のため放送コンテンツの海外展開を促進するセミナーなどを開催します。

(2) 電波利用促進部会

地域の課題解決に資する電波の利活用をテーマとした講演会を実施するなど、懇談会事業と連携し、電波利用システムの普及促進を図ります。

今年度も、「全国 5G」及び地域課題解決を実現するための「ローカル 5G」について、各地で実施されている実証試験の状況や最新動向をテーマとし、電波利活用促進と地域課題の解決に繋がるセミナーを開催します。

また、電波を利活用することによって、地域での電波利用システムの普及促進につながるセミナーを開催します。

(3) 放送部会

中国地域における放送メディアの普及・促進に向け、「ラジオ・テレビ放送の安全・安心」、「放送政策・放送サービスの最新動向」、「ローカル局の先進的取組、優良事例」等から懇談会会員などが求める課題を検討しセミナー等を開催します。

また、「放送と通信の連携など」大きな環境変化が進むなかで、一般社団法人中国経済連合会と連携した取組を開催します。

(4) 電波の日・情報通信月間推進部会

電波の日・情報通信月間の記念式典を開催すると共に、電波の日・情報通信月間の意義等について、広報活動を通じて広く国民に周知します。

また、令和 4 年度電波の日・情報通信月間記念講演会を開催します。

【記念式典】

日 時 令和 4 年 6 月 1 日(水) 午前 11 時

開催場所：ANA クラウンプラザホテル広島

【講演会】

日 時 令和 4 年 5 月 30 日(月) 午後 2 時

開催方法 対面に加え Web 会議システムを用いたハイブリッド開催

演 題：ウィズコロナ時代の地方創生と ICT

講 師：(株)日本総合研究所 主席研究員 藻谷 浩介 氏

5 組織運営等

(1) 顧問等会議

会則第8条の2の規定に基づき、最新の政策動向や会員のニーズを事業計画案の策定に反映させるため、顧問等会議を年1回開催します。

顧問等会議の開催に先立ち、会員のニーズ把握のため、電子メール等を活用し、アンケート調査を実施します。

(2) 運営委員会

会則第11条の規定に基づき、事業の具体化等必要な検討等を行うため、運営委員会を年間2回程度開催します。

(3) 新規会員の獲得

当懇談会の一層の発展を図るため、地方公共団体及び民間企業等の加入に向けた働きかけ等を通じ、新規会員の獲得に努めます。

(4) その他

普及・啓発活動及び部会活動のセミナー等を行う場合は、開催主旨や効果を踏まえたうえで、開催地が特定の地域に偏在しないよう努めます。

6 その他

(1) 表彰について

懇談会事業や地域のICTの推進に貢献が認められた団体等を対象に、その功績をたたえて表彰を行います。

(2) Web会議システム活用

会議やセミナーなどの実施にあたっては、社会情勢などを踏まえ、Web会議システムなどを有効に活用します。また、開催にあたっては、原則として対面とオンラインを併用した実施とし、やむを得ない場合はオンラインのみでの実施とします。おいて、アーカイブ配信や機器展示等、対面及びオンラインそれぞれの特色を生かした取り組みも進めます。

令和4年度予算（案）

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

収 入

項 目	予算額	前年度予算額	参 考 (予算額-前年 度予算額)	備 考
会 費	5,800,000	5,860,000	-60,000	2万円×290口
寄付金	0	0	0	
援助金	115,000	115,000	0	情報通信月間推進行事援助金
雑収入	1,000	1,000	0	預金利息
繰越金	5,270,064	5,879,406	-609,342	
合 計	11,186,064	11,855,406	-669,342	

支 出

項 目	予算額	前年度 予算額 (前年度 執行額)	参考 (予算額-前年度 予算額)	備考	
会 議 費	950,000	1,150,000 (217,911)	-200,000		
総会	600,000	700,000 (209,387)	-100,000		
運営委員会	150,000	150,000 (2,000)	0		
顧問等会議	100,000	100,000 (840)	0		
その他	100,000	200,000 (5,684)	-100,000		
事 業 費	6,600,000	6,490,000 (4,211,927)	110,000		
懇談会事業					
デジタル実装の推進	1,000,000	1,060,000 (1,366,736)	-60,000	講習会 1回 セミナー1回	
ICT を活用した災害時に向けた 取組	650,000	1,060,000 (473,930)	-410,000	セミナー2回	
サイバーセキュリティ対策	650,000	1,060,000 (0)	-410,000	勉強会等2回	
オープンデータの推進	450,000	530,000 (0)	-80,000	オープンデータ普及促進 (対面及びオンライン)	
ひろしま IT 総合展 2022	200,000	0 (0)	200,000	開催負担経費	
部会活動					
地域 情報 化	地域におけるデジタル化 の推進	950,000	600,000 (559,420)	350,000	セミナー1回 出前講座3回
	地域課題解決に資する ICT ソリューション等の 紹介	500,000	200,000 (348,920)	300,000	セミナー1回
	コンテンツの流通促進	150,000	200,000 (60,000)	-50,000	セミナー1回
電波 利用	電波利活用をテーマとし たセミナー	650,000	780,000 (695,750)	-130,000	セミナー2回

放送	放送分野の普及・促進の取組等	500,000	500,000 (315,700)	0	セミナー1回
電波の日	記念式典の開催、周知広報活動の展開	300,000	0	300,000	
	記念講演会	600,000	500,000 (391,471)	100,000	対面とオンライン併用予定
支援事業		900,000	910,000 (315,000)	-10,000	会員主催のセミナー等 (年度会費収入の15%)
ホームページ		1,050,000	550,000 (341,574)	500,000	サイバーセキュリティ対策及び 個人情報対策のため増額
事務局		1,530,000	1,830,000 (1,582,045)	-300,000	
	通信費	670,000	670,000 (558,268)	0	
	支払手数料	30,000	30,000 (15,069)	0	
	備品・消耗品	325,000	625,000 (536,668)	-300,000	
	人件費	480,000	480,000 (480,000)	0	
	その他	25,000	25,000 (0)	0	
予備費		156,064	925,406 (0)	-769,342	
合計		11,186,064	11,855,406 (6,676,417)	-669,342	

※ セミナーの開催経費の概算（会場借上げの場合）

会場借料及びweb会議運営：450,000円

会場借料のみ：100,000円

司会料：20,000円、

講師謝金：30,000円（1名分）

（セミナー基本経費）

ハイブリッド開催：500,000円/回（会場借料+司会+謝金）

オンライン開催：150,000円/回（同上）

令和4年度役員（案）

（敬称略）

会 長		中国経済連合会 会長 （令和4年度中国経済連合会定時総会 （6月8日予定）で選任された者	新 任
副 会 長	真鍋 和彦	日本海テレビジョン放送株式会社 最高顧問	再 任
運営委員長	相原 玲二	広島大学 学長特命補佐（デジタル担当）	再 任
監 事	西村 宜三	ネットワークシステムズ株式会社 ガバメントアフェアーズ推進室 エキスパート	再 任
監 事	内田 喜久雄	一般社団法人中国自動車無線協会 専務理事	再 任